

「授業計画（シラバス）」の読み方

この「授業計画（シラバス）」は、医学部、歯学部、薬学部、および保健医療学部の第1学年において実施されるカリキュラムの理念と全体像、時間割、年間予定、および各授業科目について、その目的、到達目標、授業方法、評価方法および授業内容などを解説したものである。以下、各授業科目の解説の中で使用されている用語とその意味について説明する。

「学修成果」は、学習者がその授業の学修の結果期待される修得すべき成果を包括的に示したものである。一方、学修到達目標は、知識・技能・態度の3つの領域においてどのようなことができるようになることが望ましいかを具体的に記述したものである。即ち、ここにあげる「学修到達目標」をすべて達成するとその科目を履修したということとなる。なお、学修到達目標の個々の目標を表すとき、日本語としては「～できるようになること」などと名詞形で表現する方が自然であるが、通常「～できる。」と文章の形で表されるので、ここでもそのようにしている。

学修成果と学修到達目標は、成績評価を客観的に行うために考え出された概念でもある。学生諸君はシラバスを適切に読むことにより、その科目における学修のポイントを的確に把握することができる。

「評価方法」にはその科目の評価の具体的内容、方法、割合等が書かれている。

「教科書」、「参考書」にはその科目での指定教科書、参考書が書かれている。

「オフィスアワー」には授業内容に関する質問を受け付けるために、教育職員が特に空けている時間帯と受付場所が書かれている。ただし、メールや手紙などの手段を用いる場合もあり、授業時間内に知らせると書かれている場合もある。

「予定表」には各回での授業予定が書かれている。これを参考にすれば授業の全体像をつかむことができ、また各授業の準備を行うことができる。

また、科目名に付記されている“A”または“B”の表記は“A”は前期、“B”は後期を示しており、授業の内容は異なる。

学生諸君はこのシラバスを上手に活用して、各科目の学修に役立ててもらいたい。